

わだいの特選 カメラルポ

新 毛呂本郷夏祭り

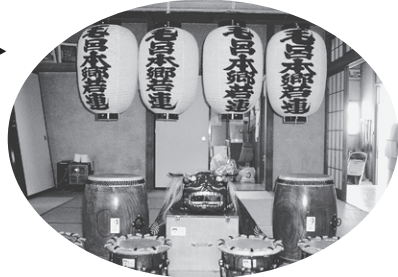
新しい太鼓が祭りをさらに盛り上げて



7月18日、19日にわたって、『毛呂本郷夏祭り』が開催されました。毛呂本郷の夏祭りは、毛呂の「お天王様」として古くから親しまれ、八坂神社の祇園祭りとして厄病よけに行われてきました。

祭りの当日は、2基の山車が毛呂本郷の集会所から出発し、別々のルートでゆずの里商店街や毛呂駅の周辺を練り歩きました。山車は誰でも曳くことができ、見学に訪れた人も、次々と引き綱を握りました。山車の上では、お囃子に合わせ、きつねやひよっとこの面をした人たちが舞を披露し、山車の周りはお祭りを見ようとする人でいっぱいになりました。途中で2基の山車がすれ違ふと、祭りはいっそう盛り上がりました。

宝くじ助成金で購入した太鼓や獅子頭



毛呂本郷自治会では、今年、(財)自治総合センターで実施している「平成21年度宝くじ助成金」を受け、長胴太鼓、附締太鼓、獅子頭などを購入し、このお祭りでさっそく披露されました。毛呂本郷自治会では、これらの太鼓を地域の人たちが毎年集う夏祭り事業、福祉施設の訪問や町のイベントなどで活用することにより、明るい地域コミュニティづくりをいっそう推進できると期待を寄せています。

採 大類とうもろこしのもぎ取り れたてで、あま〜い!

7月11日に、歴史民俗資料館の裏にあるとうもろこし畑で、「大類もろおこし会」の主催による『とうもろこしのもぎ採り』が行われました。

参加者は、大類もろおこし会の皆さんから、「穂が茶色く枯れていて、さわって実が硬くしまっているのが食べごろです。大きいものを選んでください」と、とうもろこしの選び方を教わったあと、さっそく畑に入りました。

採れたてのとうもろこしは甘く、訪れた人びとは、友人や近所の人にもあげようと、たくさんのもろこしを採っていました。また、自分の背丈よりずっと高いとうもろこしに、子どもたちは大はしゃぎでした。



毎 葛川放水路竣工記念式典 秒50トン放水可能!



7月25日、旧毛呂山高等学校体育館で『葛川放水路竣工記念式典』が開催されました。

葛川流域では、台風や集中豪雨などによる洪水で河川が氾濫し、浸水被害が発生していました。完成した葛川放水路は毎秒50トンの水を高麗川に流すことができるため、上流から流れてくる雨水の大部分を処理することができます。この放水路が完成したことで、今後、葛川流域では浸水被害を大きく軽減することができます。